

農業委員会等に関する法律（昭和26年法律第88号）第9条第2項及び同法施行規則第6条第2号の規定に基づき、広島市農業委員会の委員（農業委員）の推薦及び応募状況について、次のとおり公表します。【最終公表】

- 1 推薦を受けた者の数及びそのうちの認定農業者等又はこれに準ずる者の数
1人（そのうち認定農業者等又はこれに準ずる者の数は1人）
- 2 応募した者の数及びそのうちの認定農業者等又はこれに準ずる者の数
3人（そのうち認定農業者等又はこれに準ずる者の数は0人）

3 推薦を受けた者及び応募した者に関する情報

(1) 法人・団体による推薦

被推薦者（推薦を受けた者）										推薦者（推薦した者）					
氏名	職業	年齢（歳）	性別	経歴		農業経営の状況		認定農業者であるか否かの別	認定農業者に準ずる者であるか否かの別	団体の名称	代表者又は管理人の氏名	活動の主たる目的	構成員の数（人）	構成員の資格・性格を明らかにする事項	推薦の理由
				期間	名称・役職名等	営農類型	耕作面積（アール）								
高西 雅博	農業	39	男	H25.4.1～現在 R4.4.22～現在 R6～現在 R6.7.6～現在 R7.6.10～現在	就農 広島県農業協同組合青壮年連盟委員 広島県農業協同組合青壮年連盟副委員長 JAユース広島市 副委員長 青少年指導員	露地野菜 施設野菜	40	×	○	広島市農業協同組合	代表理事組合長 吉川 清二	農業生産力の増進及び農業者の経済的、社会的地位の向上	118,574	JA広島市管内において農業を営む者（正組合員）	高西雅博氏は、地域農業の発展に尽力され、地域からの人望も厚く、人物的にも申し分ないと思われます。これからの農業委員会業務にも貢献されると考え、推薦します。

(2) 個人による推薦 なし

(3) 応募

応募した者										
氏名	職業	年齢（歳）	性別	経歴		農業経営の状況		認定農業者であるか否かの別	認定農業者に準ずる者であるか否かの別	応募の理由
				期間	名称・役職名等	営農類型	耕作面積（アール）			
味村 憲征	社会福祉法人 広島市社会福祉協議会福祉サービス利用援助事業生活支援員	75	男	S44.4.1～S48.3.31 S48.4.1～H10.10.31 H11.5.1～H26.11.1 H26.6.1～現在 H28.4.15～現在 R2・R7	佐賀大学農学部 日本ワイズ㈱ 岩国市特別公務員 保護司 非常勤公務員（法務省） 中国矯正管区 篤志面接委員 国勢調査員 非常勤公務員（総務省）	—	—	×	×	『子供は都会で就職した。俺が農家やめたらどうするんだ。この農地。』『自分の農地をどうするか悩んだら農業委員会に相談しましょう！』農水省のポスターに触発されました。農学の識見で、農業の担い手、土地、技術を守り、市民の中立的な視点で、農地法を忠実に活用し、後継者の相談に取り組みたいと思いました。

西村 弘子	会社代表	66	女	H22.11.16～現在 R2.12.15～現在	(不動産会社)ニシムラ 代表者 (ペットショップ)ニシムラうさぎ専門店 代表者	—	—	×	×	農地の有効利用の提案・農地転用による知識を行政書士と協力して農家の方によるこぼれる提案をします。 司法書士と協力して農家の方の相続をスムーズに行える提案をします。
玉里 美智男	公務員	65	男	S57.5.1～H3.3.31 S57.5.1～H19.3.31 H3.4.1～H9.3.31 H17.4.1～H21.3.31 H29.4.1～R4.3.31 R3.4.1～現在 R5.4.1～R7.3.31 R5.4.1～R7.3.31 R5.4.1～現在	湯来町役場 産業課主事 湯来町・広島市消防団員 湯来町役場 農業委員会主事 湯来東小学校・湯来中学校 PTA 会長・副会長 広島市農業生産区長 広島市 佐伯区役所地籍調査係再任用職員 主事 上麦谷2町内会長 水内地区保全会監事(多目的機能支払交付金事業) ひろしまアダプト支援事業活動認定団体代表	水稻 露地野菜	22	×	×	広島市において農地の荒廃化が問題となっているが、湯来町の場合、農業委員が1人しかいない為、特に農地の荒廃が進んでいる。湯来町の農家数及び農地面積から見て最低でも2人は必要と思われる、今後さらに高齢化や後継者の町外への転出、農業の生産性の低さ等により農地の6割以上が耕作放棄地になる可能性が高い。また維持管理すらできてない農地の転用も加速し優良農地が虫食い状態になることが懸念される。私は広島市の職員として、20年以上農業振興、農業委員会及び地籍調査の仕事に携わってきたので、経験もあり、町内全域について土地勘もある。机上の知識だけでなく生まれ育った湯来町で地域活動にも積極的に参加し、地元農家とのつながりも深い。現状を少しでも改善する為、気力(地元愛・行動力)、体力(日課としてジョギング)が充実している今、農業委員として地元で農地相談会等を開催し、農地の利用促進及び農業振興に努めていきたい。(昨年、農業委員となった場合を考え、活動するうえで支障となる町内会長職を辞職した)